

(案)

ペントキサゾン
農薬蜜蜂影響評価書

2024年12月24日

農業資材審議会農薬分科会
農薬蜜蜂影響評価部会

目 次

<経緯>	2
<農薬蜜蜂影響評価部会委員名簿>	2
I. 評価対象農薬の概要	3
1. 有効成分の概要	3
2. 有効成分の物理的・化学的性状	4
3. 申請に係る情報	5
4. 作用機作	5
5. 適用病害虫の範囲及び使用方法（別添参照）	6
II. ミツバチに対する安全性に係る試験の概要	10
1. ミツバチに対する安全性に係る試験	10
2. ミツバチ個体への毒性（毒性指標）	11
3. 花粉・花蜜残留試験	13
4. 蜂群への影響試験	13
III. 毒性指標	14
1. 毒性試験の結果概要	14
2. 毒性指標値	14
3. 毒性の強さから付される注意事項	14
IV. 暴露量の推計	14
V. 評価結果	14
評価資料	15
評価資料（公表文献）	15

<経緯>

令和 5 年 (2023年) 9 月 21 日 農業資材審議会への諮問

令和 6 年 (2024年) 12 月 24 日 農業資材審議会農薬分科会

農薬蜜蜂影響評価部会 (第15回)

<農薬蜜蜂影響評価部会委員名簿> (第 15 回)

(委員)

五箇 公一
山本 幸洋

(臨時委員)

中村 純

(専門委員)

永井 孝志
横井 智之

ペントキサゾン

I. 評価対象農薬の概要

1. 有効成分の概要

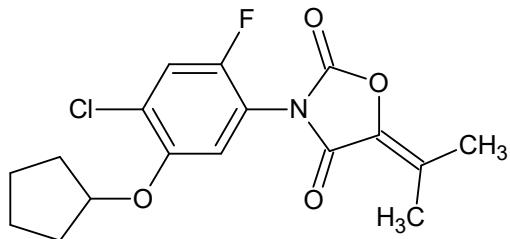
1.1 申請者	科研製薬株式会社
1.2 登録名	ペントキサゾン 3-(4-クロロ-5-シクロヘンチルオキシ-2-フルオロフェニル)-5-イソプロピリデン-1,3-オキサゾリジン-2,4-ジオン
1.3 一般名	pentoxazone (ISO 名)
1.4 化学名	
IUPAC名 :	3-[4-chloro-5-(cyclopentyloxy)-2-fluorophenyl]-5-(propan-2-ylidene)-1,3-oxazolidine-2,4-dione
CAS名 :	3-[4-chloro-5-(cyclopentyloxy)-2-fluorophenyl]-5-(1-methylethylidene)-2,4-oxazolidinedione (CAS No. 110956-75-7)
1.5 コード番号	KPP-314

1.6 分子式、構造式、分子量

分子式



構造式



分子量

353.78

2. 有効成分の物理的・化学的性状

試験項目	純度 (%)	試験方法	試験結果
色調・形状	99.9	目視	白色・固体(粉末)
臭気	99.9	官能法	無臭
融点	99.9	OECD 102	104.4 °C
沸点	99.9	OECD 103	測定不能 (230 °C以上で分解)
密度	99.9	OECD109	1.418 g/cm³ (25 °C)
蒸気圧	99.9	OECD 104	<1.11 × 10⁻⁵ Pa (25 °C)
熱安定性	97.2	DSC法	220 °C以上で分解
水	99.9	OECD 105	0.216 mg/L (25 °C)
ヘキサン	99.9	OECD 105	5.10 g/L (25 °C)
ジクロロメタン			>100 g/L (25 °C)
アセトン			>100 g/L (25 °C)
メタノール			24.8 g/L (25 °C)
酢酸エチル			>100 g/L (25 °C)
アセトニトリル			>100 g/L (25 °C)
解離定数 (pK _a)	99.9	OECD 112	酸性～中性域で解離しない
1-オクタノール／水分配係数 (log P _{ow})	99.9	OECD 107	4.66 (25°C)
加水分解性	>98	OECD 111	半減期 35.5 日 (25 °C、pH 4.0) 半減期 22.3 日 (25 °C、pH 5.0) 半減期 4.75 日 (25 °C、pH 7.0) 半減期 1.91 時間 (25 °C、pH 9.0)
水中光分解性	>98	59農蚕第4200号	半減期16.2日(pH 5.0、25 °C、142 W/m²、290~800 nm)

試験項目	純度 (%)	試験方法	試験結果		
紫外吸収 (UV) スペクトル	99.9		極大吸収波長 (nm)	吸光度	モル吸光係数 (L mol ⁻¹ cm ⁻¹)
			247	0.528	23000
			289	0.155	6740
試験項目		試験方法	試験結果		
土壤吸着係数		OECD 106	算出不可		
土壤残留性	59農蚕第4200号		粒剤(1回散布)、水田土壤(2種類)：半減期 5~23.3日 (土壤の深さ10 cm、減衰曲線による推定値)		
			粒剤(2回散布)、水田土壤(2種類)：半減期 10~40.2日 (土壤の深さ10 cm、減衰曲線による推定値)		

3. 申請に係る情報

ペントキサゾンは、2024年11月現在、韓国、中国及びトルコの3か国で水稻用除草剤として登録されている。

4. 作用機作

ペントキサゾンは非ホルモン接触型・光要求性のオキサゾリジン環を有するオキサゾリジンジオン系除草剤であり、その殺草作用は細胞構成成分の光酸化的破壊に基づくものと考えられている。
(HRAC分類：14*)

※参照：<https://www.hracglobal.com/>

5. 適用病害虫の範囲及び使用方法（90 製剤、別添参考）

- ・ベクサーフロアブル及びベアスフロアブル
(ペントキサゾン 2.9 %水和剤)
- ・ベクサー 1 キロ粒剤及びベアス 1 キロ粒剤
(ペントキサゾン 1.5 %粒剤)
- ・テマカットフロアブル及び SDS テマカットフロアブル
(ダイムロン 28.0 %・ペントキサゾン 7.2 %水和剤)
- ・日産草笛フロアブル、草笛フロアブル及び協友草笛フロアブル
(クミルロン 27.4 %・ペントキサゾン 8.2 %水和剤)
- ・科研草笛ジャンボ、草笛ジャンボ及び協友草笛ジャンボ
(クミルロン 15.0 %・ペントキサゾン 4.5 %剤)
- ・ユートピア粒剤 15
(シクロスルファムロン 0.20 %・ペントキサゾン 1.5 %粒剤)
- ・ショキニーフロアブル
(ブロモブチド 18.0 %・ペントキサゾン 4.0 %水和剤)
- ・ユートピア 1 キロ粒剤
(シクロスルファムロン 0.60 %・ペントキサゾン 4.5 %粒剤)
- ・トップガンフロアブル
(ピリミノバッカムチル 0.83 %・ブロモブチド 17.0 %・ベンスルフロンメチル 1.3 %・ペントキサゾン 2.8 %水和剤)
- ・トップガン L フロアブル
(ピリミノバッカムチル 0.56 %・ブロモブチド 17.0 %・ベンスルフロンメチル 0.93 %・ペントキサゾン 2.8 %水和剤)
- ・フォーカスショットジャンボ、及び科研フォーカスショットジャンボ
(ベンゾビシクロン 4.0 %・ペントキサゾン 4.0 %粒剤)
- ・クミアイサキドリ EW、シンウチ EW 及びイネゼット EW
(ブタクロール 12.0 %・ペントキサゾン 4.0 %乳剤)
- ・ショキニー 250 グラム
(ブロモブチド 24.0 %・ペントキサゾン 6.0 %剤)
- ・トップガン 250 グラム
(ピリミノバッカムチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)
- ・SDS ダッシュワンフロアブル及びホクコーダッシュワンフロアブル
(ダイムロン 22.9 %・ペントキサゾン 3.8 %水和剤)
- ・トップガン L 250 グラム
(ピリミノバッカムチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 2.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)

- ・プレッサフロアブル及びSDSプレッサフロアブル
(ベンゾビシクロン3.9%・ペントキサゾン3.9%水和剤)
- ・トップガンGT1キロ粒剤75
(ピリミノバックメチル0.45%・プロモブチド9.0%・ベンスルフロンメチル0.75%・
ペントキサゾン2.0%粒剤)
- ・トップガンGT1キロ粒剤51
(ピリミノバックメチル0.45%・プロモブチド9.0%・ベンスルフロンメチル0.51%・
ペントキサゾン2.0%粒剤)
- ・トップガンジャンボ
(ピリミノバックメチル1.8%・プロモブチド36.0%・ベンスルフロンメチル3.0%・ペ
ントキサゾン8.0%剤)
- ・トップガンLジャンボ
(ピリミノバックメチル1.8%・プロモブチド36.0%・ベンスルフロンメチル2.0%・ペ
ントキサゾン8.0%剤)
- ・クミアイサキドリ1キロ粒剤及びシンウチ1キロ粒剤
(ブタクロール5.0%・ペントキサゾン1.5%粒剤)
- ・ヨシキタ1キロ粒剤
(イマゾスルフロン0.90%・プロモブチド9.0%・ペントキサゾン3.9%粒剤)
- ・ヨシキタフロアブル
(イマゾスルフロン1.7%・プロモブチド16.3%・ペントキサゾン7.0%水和剤)
- ・ヨシキタジャンボ
(イマゾスルフロン2.25%・プロモブチド22.5%・ペントキサゾン9.75%粒剤)
- ・サインヨシフロアブル
(ペントキサゾン8.6%水和剤)
- ・MICスウェーブフロアブル
(ピラゾレート20.0%・ペントキサゾン4.0%水和剤)
- ・クリアホープフロアブル及び兼商クリアホープフロアブル
(ペントキサゾン4.0%・ACN18.0%水和剤)
- ・半蔵1キロ粒剤
(シクロスルファムロン0.50%・ベンゾビシクロン2.0%・ペントキサゾン3.9%粒剤)
- ・ホクコーメテオ1キロ粒剤
(ペントキサゾン2.5%粒剤)
- ・ホクコーメテオフロアブル
(ペントキサゾン5.0%水和剤)
- ・イネヒーロー1キロ粒剤及び日産イネヒーロー1キロ粒剤
(ダイムロン10.0%・ペントキサゾン3.0%・メタゾスルフロン1.0%粒剤)
- ・イネヒーロージャンボ及び日産イネヒーロージャンボ
(ダイムロン25.0%・ペントキサゾン7.5%・メタゾスルフロン2.5%粒剤)

- ・ゲキテツ 1 キロ粒剤
(ピラゾルフルフロンエチル 0.30 %・ベンチオカーブ 21.0 %・ペントキサゾン 4.0 %粒剤)
- ・テマエース 1 キロ粒剤
(イマゾスルフロン 0.90 %・ダイムロン 15.0 %・ペントキサゾン 3.9 %粒剤)
- ・テマエースフロアブル
(イマゾスルフロン 1.7 %・ダイムロン 28.0 %・ペントキサゾン 7.3 %水和剤)
- ・ゼータタイガーフロアブル、ドラゴンホークZ フロアブル及びニマイメZ フロアブル
(プロピリスルフロン 1.7 %・ブロモブチド 16.8 %・ペントキサゾン 3.7 %水和剤)
- ・ゼータハンマー 1 キロ粒剤
(プロピリスルフロン 0.90 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)
- ・ゼータタイガー 1 キロ粒剤、ドラゴンホークZ 1 キロ粒剤、及びニマイメZ 1 キロ粒剤
(プロピリスルフロン 0.90 %・ブロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)
- ・ゼータタイガージャンボ、ドラゴンホークZ ジャンボ、及びニマイメZ ジャンボ
(プロピリスルフロン 3.0 %・ブロモブチド 30.0 %・ペントキサゾン 6.67 %粒剤)
- ・イネヒーローフロアブル
(ダイムロン 19.0 %・ペントキサゾン 5.7 %・メタゾスルフロン 1.9 %水和剤)
- ・ホクコーメテオジャンボ
(ペントキサゾン 8.3 %粒剤)
- ・イネショット 1 キロ粒剤
(ブロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)
- ・ゼータハンマーフロアブル
(プロピリスルフロン 1.7 %・ペントキサゾン 3.9 %水和剤)
- ・ゼータハンマージャンボ
(プロピリスルフロン 4.5 %・ペントキサゾン 10.0 %粒剤)
- ・S D S イザナギフロアブル及びイザナギフロアブル
(トリアファモン 0.94 %・ベンゾビシクロロン 3.8 %・ペントキサゾン 5.7 %水和剤)
- ・ゼータタイガー 3 0 0 F G 及びドラゴンホークZ 3 0 0 F G
(プロピリスルフロン 3.0 %・ブロモブチド 30.0 %・ペントキサゾン 6.67 %粒剤)
- ・S D S イザナギ 1 キロ粒剤及びイザナギ 1 キロ粒剤
(トリアファモン 0.50 %・ベンゾビシクロロン 2.0 %・ペントキサゾン 2.5 %粒剤)
- ・ショキニー 1 キロ粒剤
(ブロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)
- ・トップガンR 1 キロ粒剤
(ピリミノバックメチル 0.45 %・ブロモブチド 9.0 %・ベンスルフロンメチル 0.75 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)

- ・トップガンR豆つぶ250
(ピリミノバックメチル1.8%・プロモブチド36.0%・ベンズルフロンメチル3.0%・ペントキサゾン8.0%剤)
- ・トップガンRジャンボ
(ピリミノバックメチル1.8%・プロモブチド36.0%・ベンズルフロンメチル3.0%・ペントキサゾン8.0%剤)
- ・トップガンRフロアブル
(ピリミノバックメチル0.83%・プロモブチド17.0%・ベンズルフロンメチル1.3%・ペントキサゾン2.8%水和剤)
- ・ゼータジャガーフロアブル
(フェンキノトリオン5.7%・プロピリスルフロン1.7%・ペントキサゾン3.8%水和剤)
- ・ゼータジャガー1キロ粒剤
(フェンキノトリオン3.0%・プロピリスルフロン0.90%・ペントキサゾン2.0%粒剤)
- ・ゼータジャガージャンボ
(フェンキノトリオン15.0%・プロピリスルフロン4.5%・ペントキサゾン10.0%粒剤)
- ・流星フロアブル
(フェンキノトリオン6.0%・ペントキサゾン5.0%・メタゾスルフロン2.0%水和剤)
- ・流星1キロ粒剤
(フェンキノトリオン3.0%・ペントキサゾン2.5%・メタゾスルフロン1.0%粒剤)
- ・流星ジャンボ
(フェンキノトリオン7.5%・ペントキサゾン6.25%・メタゾスルフロン2.5%粒剤)
- ・流星エアー一粒剤
(フェンキノトリオン7.5%・ペントキサゾン6.25%・メタゾスルフロン2.5%粒剤)
- ・S DSイザナギジャンボSD及びイザナギジャンボSD
(トリアファモン2.5%・ベンゾビシクロン10.0%・ペントキサゾン15.0%粒剤)
- ・S DSイザナギ200SD粒剤及びイザナギ200SD粒剤
(トリアファモン2.5%・ベンゾビシクロン10.0%・ペントキサゾン15.0%粒剤)
- ・イネヒーローエアー一粒剤
(ダイムロン25.0%・ペントキサゾン7.5%・メタゾスルフロン2.5%粒剤)
- ・イネブレイブ1キロ粒剤
(ジメタメトリン0.6%・ペントキサゾン3.0%・メタゾスルフロン0.8%粒剤)

II. ミツバチに対する安全性に係る試験の概要

1. ミツバチに対する安全性に係る試験

ペントキサゾンのミツバチに対する安全性に係る試験を表1に示す。

表1：ミツバチに対する安全性に係る試験

試験の種類	評価段階	試験数	公表文献数*
成虫単回接触毒性試験	第1段階	1	0
成虫単回経口毒性試験		1	0
成虫反復経口毒性試験		0	0
幼虫経口毒性試験		0	0
花粉・花蜜残留試験		0	
蜂群への影響試験	第2段階	0	

* (参考) 公表文献の検索結果

(生活環境動植物及び家畜に対する毒性に関する分野)

データベース名: Web of Science (Core Collection)及びJ-STAGE

検索対象期間: 2006年1月1日から2021年12月31日

「生活環境動植物及び家畜に対する毒性に関する分野」に該当する文献数

28



【表題と概要に基づく適合性の有無の評価】
明らかに評価の目的と適合しない文献の除外

「適合性なし」以外の文献数

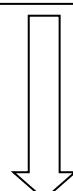
6



【全文に基づく適合性の有無の評価】
評価の目的と適合しない文献の除外

「適合性あり」の文献数

3



【適合性の分類】

分類基準を設定して全文をレビューし、評価目的への適合性を
a、b、c の3つの区分に分類

〔区分a；リスク評価パラメーターを設定又は見直すために利用可能と判断される文献
区分b；リスク評価パラメーターを設定する際の補足データとして利用が可能と想定される文献
区分c；a又はbに分類されない文献〕

「区分a」及び「区分b」に分類された文献数

a	b
0	1



試験生物として「セイヨウミツバチ (*Apis mellifera*)」
を用いている

審議の対象とする文献数

a	b
0	0

※公表文献に関する情報募集(令和5年11月1日~11月30日)で寄せられた情報はない。

2. ミツバチ個体への毒性（毒性指標）

2.1 成虫単回接触毒性試験

セイヨウミツバチ成虫を用いた単回接触毒性試験が実施され、48 h LD₅₀ は >98.7 µg ai/bee であった。

表 2：単回接触毒性試験結果（資料 1、1995 年）

被験物質	原体				
供試生物/反復	セイヨウミツバチ(<i>Apis mellifera</i>)/ 5反復、20頭/区				
準拠ガイドライン	記載なし				
試験期間	96 h				
投与溶媒(投与液量)	アセトン(10 µL)				
暴露量 (実測値に基づく有効成分換算値) (µg ai /bee)	対照区 (無処理) (死亡率 %)	対照区 (アセトン) (死亡率 %)	0.987	9.87	98.7
死亡数/供試生物数 (48 h)	3/100 (3.0 %)	1/100 (1.0 %)	5/100	1/100	1/100
観察された行動異常	なし				
LD ₅₀ (µg ai /bee) (48 h)	>98.7				

2.2 成虫経口毒性試験

セイヨウミツバチ成虫を用いた経口毒性試験が実施され、48 h LDD₅₀ は >36.7 µg ai/bee/day であった。

本試験は暴露方法が連続暴露であり、OECD テストガイドラインで示された要件（単回投与）を満たしていないことから参考資料とした。

表 3：経口毒性試験結果（資料 1、1995 年）

被験物質	原体				
供試生物/反復	セイヨウミツバチ(<i>Apis mellifera</i>)/ 5反復、20頭/区				
準拠ガイドライン	記載なし				
試験期間	96 h				
投与溶液(投与液量)	50 %ショ糖溶液(連続暴露)				
助剤(濃度%)	アセトン(濃度記載なし)				
暴露量 (実測値に基づく有効成分換算値) (µg ai/bee/day)	対照区 (無処理) (死亡率 %)	対照区 (アセトン) (死亡率 %)	9.17	18.3	36.7
死亡数/供試生物数 (48 h)	1/100 (1.0 %)	2/100 (2.0 %)	2/100	4/100	3/100
観察された行動異常	なし				
LDD ₅₀ (µg ai/bee/day) (48 h)	>36.7				

2.3 成虫反復経口毒性試験

該当なし

2.4 幼虫経口毒性試験

該当なし

3. 花粉・花蜜残留試験

該当なし

4. 蜂群への影響試験

該当なし

III. 毒性指標

1. 毒性試験の結果概要

毒性試験の結果概要を表 4 に示す。

表 4 : 各試験の毒性値一覧

毒性試験	毒性値	
	エンドホ イント	試験1
成虫単回接触毒性	48h LD ₅₀ (μg ai/bee)	>98.7
成虫単回経口毒性	48h LD ₅₀ (μg ai/bee)	—*

*OECD テストガイドラインで示された要件（単回投与）を満たしていないことから参考資料とした。

2. 毒性指標値

ペントキサゾンの蜜蜂への影響評価に用いる毒性指標値は以下のとおりとした（表 5）。

(1) 成虫単回接触毒性

48h LD₅₀ 値 (>98.7 μg ai/bee) を採用し、毒性指標値を 98 μg ai/bee とした。

表 5 : ペントキサゾンのミツバチへの影響評価に用いる毒性指標値

生育段階	毒性試験の種類	毒性指標値(単位)	
成虫	単回接触毒性	48h LD ₅₀ (μg ai/bee)	98

3. 毒性の強さから付される注意事項

成虫単回接触毒性の LD₅₀ が 11 μg/bee 以上であったため、注意事項は要しない。

IV. 暴露量の推計

本剤は、昆虫成長制御剤に該当せず、成虫の急性接触毒性（単回接触毒性試験の LD₅₀ 値）が 11 μg/bee 以上であることから、1 巡目の再評価において、リスク評価を行う対象とはしない。そのため、暴露量の推計は行わない。

V. 評価結果

ペントキサゾンは、申請された使用方法に基づき使用される限りにおいて、ミツバチの群の維持に支障を及ぼすおそれはないと考えられる。

評価資料

資料番号	報告年	題名、出典（試験施設以外の場合） 試験施設、報告書番号 GLP適合状況（必要な場合）、公表の有無	提出者
1	1995	KPP-314 原体のミツバチに対する急性毒性試験 科研製薬株式会社、試験番号 KPP-314/ATG/NTE/02 非公表	科研製薬(株)
2	2022 (2023修正)	農薬取締法に基づく農薬有効成分の再評価制度に係る公表文献調査報告書 有効成分名：ペントキサゾン 公表	科研製薬(株)

評価資料（公表文献）

該当なし

別添：適用病害虫の範囲及び使用方法（ペントキサゾン）

目 次

1.	登録番号 19845 : ベクサーフロアブル、 登録番号 22865 : ベアスフロアブル (ペントキサゾン 2.9 %水和剤)	6
2.	登録番号 19847 : ベクサー 1 キロ粒剤、 登録番号 22866 : ベアス 1 キロ粒剤 (ペントキサゾン 1.5 %粒剤)	6
3.	登録番号 19848 : テマカットフロアブル、 登録番号 19849 : S D S テマカットフロアブル (ダイムロン 28.0 %・ペントキサゾン 7.2 %水和剤)	7
4.	登録番号 19853 : 日産草笛フロアブル、 登録番号 21116 : 草笛フロアブル、 登録番号 21621 : 協友草笛フロアブル (クミルロン 27.4 %・ペントキサゾン 8.2 %水和剤)	8
5.	登録番号 19854 : 科研草笛ジャンボ、 登録番号 21115 : 草笛ジャンボ、 登録番号 21620 : 協友草笛ジャンボ (クミルロン 15.0 %・ペントキサゾン 4.5 %剤)	9
6.	登録番号 19869 : ヨートピア粒剤 1.5 (シクロスルファムロン 0.20 %・ペントキサゾン 1.5 %粒剤)	10
7.	登録番号 19872 : ショキニーフロアブル (ブロモブチド 18.0 %・ペントキサゾン 4.0 %水和剤)	10
8.	登録番号 20156 : ヨートピア 1 キロ粒剤 (シクロスルファムロン 0.60 %・ペントキサゾン 4.5 %粒剤)	11
9.	登録番号 20491 : トップガンフロアブル (ピリミノバックメチル 0.83 %・ブロモブチド 17.0 %・ベンスルフロンメチル 1.3 %・ペントキサゾン 2.8 %水和剤)	12
10.	登録番号 20493 : トップガンLフロアブル (ピリミノバックメチル 0.56 %・ブロモブチド 17.0 %・ベンスルフロンメチル 0.93 %・ペントキサゾン 2.8 %水和剤)	13
11.	登録番号 20634 : フォーカスショットジャンボ、 登録番号 21105 : 科研フォーカスショットジャンボ (ベンズビシクロロン 4.0 %・ペントキサゾン 4.0 %粒剤)	14

1 2.	登録番号 20822 : クミアイサキドリ EW、 登録番号 22742 : シンウチ EW、 登録番号 23099 : イネゼット EW (ブタクロール 12.0 %・ペントキサゾン 4.0 %乳剤)	14
1 3.	登録番号 20993 : ショキニー 250 グラム (プロモブチド 24.0 %・ペントキサゾン 6.0 %剤)	15
1 4.	登録番号 21155 : トップガン 250 グラム (ピリミノバックメチル 1.8 %・プロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)	15
1 5.	登録番号 21165 : SDS ダッシュワンプロアブル、 登録番号 21166 : ホクコーダッシュワンプロアブル (ダイムロン 22.9 %・ペントキサゾン 3.8 %水和剤)	16
1 6.	登録番号 21167 : トップガン L 250 グラム (ピリミノバックメチル 1.8 %・プロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 2.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)	17
1 7.	登録番号 21208 : プレッサフロアブル、 登録番号 21209 : SDS プレッサフロアブル (ベンズビシクリン 3.9 %・ペントキサゾン 3.9 %水和剤)	18
1 8.	登録番号 21375 : トップガン GT 1 キロ粒剤 75 (ピリミノバックメチル 0.45 %・プロモブチド 9.0 %・ベンスルフロンメチル 0.75 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)	19
1 9.	登録番号 21378 : トップガン GT 1 キロ粒剤 51 (ピリミノバックメチル 0.45 %・プロモブチド 9.0 %・ベンスルフロンメチル 0.51 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)	20
2 0.	登録番号 21381 : トップガン ジャンボ (ピリミノバックメチル 1.8 %・プロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)	21
2 1.	登録番号 21384 : トップガン L ジャンボ (ピリミノバックメチル 1.8 %・プロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 2.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)	22
2 2.	登録番号 21403 : クミアイサキドリ 1 キロ粒剤、 登録番号 22743 : シンウチ 1 キロ粒剤 (ブタクロール 5.0 %・ペントキサゾン 1.5 %粒剤)	23
2 3.	登録番号 21829 : ヨシキタ 1 キロ粒剤 (イマゾスルフロン 0.90 %・プロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 3.9 %粒剤)	24
2 4.	登録番号 21831 : ヨシキタ フロアブル (イマゾスルフロン 1.7 %・プロモブチド 16.3 %・ペントキサゾン 7.0 %水和剤)	25

25. 登録番号 22309 : ヨシキタジャンボ (イマゾスルフロン 2.25 %・プロモブチド 22.5 %・ペントキサゾン 9.75 %粒剤)	26
26. 登録番号 22322 : サインヨシフロアブル (ペントキサゾン 8.6 %水和剤)	26
27. 登録番号 22420 : M I C スウェーブフロアブル (ピラゾレート 20.0 %・ペントキサゾン 4.0 %水和剤)	27
28. 登録番号 22655 : クリアホープフロアブル、 登録番号 22656 : 兼商クリアホープフロアブル (ペントキサゾン 4.0 %・ACN 18.0 %水和剤)	27
29. 登録番号 22846 : 半蔵 1 キロ粒剤 (シクロスルファムロン 0.50 %・ベンゾビシクロン 2.0 %・ペントキサゾン 3.9 %粒剤)	28
30. 登録番号 23008 : ホクコーメテオ 1 キロ粒剤 (ペントキサゾン 2.5 %粒剤)	28
31. 登録番号 23009 : ホクコーメテオフロアブル (ペントキサゾン 5.0 %水和剤)	29
32. 登録番号 23225 : イネヒーロー 1 キロ粒剤、 登録番号 23226 : 日産イネヒーロー 1 キロ粒剤 (ダイムロン 10.0 %・ペントキサゾン 3.0 %・メタゾスルフロン 1.0 %粒剤)	30
33. 登録番号 23525 : イネヒーロージャンボ、 登録番号 23526 : 日産イネヒーロージャンボ (ダイムロン 25.0 %・ペントキサゾン 7.5 %・メタゾスルフロン 2.5 %粒剤)	31
34. 登録番号 23572 : ゲキテツ 1 キロ粒剤 (ピラゾスルフロンエチル 0.30 %・ベンチオカーブ 21.0 %・ペントキサゾン 4.0 %粒剤)	32
35. 登録番号 23582 : テマエース 1 キロ粒剤 (イマゾスルフロン 0.90 %・ダイムロン 15.0 %・ペントキサゾン 3.9 %粒剤)	32
36. 登録番号 23583 : テマエースフロアブル (イマゾスルフロン 1.7 %・ダイムロン 28.0 %・ペントキサゾン 7.3 %水和剤)	33
37. 登録番号 23735 : ゼータタイガーフロアブル、 登録番号 23873 : ドラゴンホーク Z フロアブル、 登録番号 24244 : ニマイメ Z フロアブル (プロピリスルフロン 1.7 %・プロモブチド 16.8 %・ペントキサゾン 3.7 %水和剤)	34
38. 登録番号 23747 : ゼータハンマー 1 キロ粒剤 (プロピリスルフロン 0.90 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)	35
39. 登録番号 23748 : ゼータタイガー 1 キロ粒剤、 登録番号 23875 : ドラゴンホーク Z 1 キロ粒剤、 登録番号 24245 : ニマイメ Z 1 キロ粒剤 (プロピリスルフロン 0.90 %・プロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)	36

4 0. 登録番号 23749 : ゼータタイガージャンボ、 登録番号 23877 : ドラゴンホーク Z ジャンボ、 登録番号 24246 : ニマイメ Z ジャンボ (プロピリスルフロン 3.0 %・ブロモブチド 30.0 %・ペントキサゾン 6.67 %粒剤)	37
4 1. 登録番号 23753 : イネヒーローフロアブル (ダイムロン 19.0 %・ペントキサゾン 5.7 %・メタゾスルフロン 1.9 %水和剤)	38
4 2. 登録番号 23822 : ホクコーメテオジャンボ (ペントキサゾン 8.3 %粒剤)	39
4 3. 登録番号 23837 : イネショット 1 キロ粒剤 (ブロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)	39
4 4. 登録番号 23878 : ゼータハンマーフロアブル (プロピリスルフロン 1.7 %・ペントキサゾン 3.9 %水和剤)	40
4 5. 登録番号 23879 : ゼータハンマージャンボ (プロピリスルフロン 4.5 %・ペントキサゾン 10.0 %粒剤)	41
4 6. 登録番号 23995 : S D S イザナギフロアブル、 登録番号 23996 : イザナギフロアブル (トリアファモン 0.94 %・ベンゾビシクロン 3.8 %・ペントキサゾン 5.7 %水和剤)	42
4 7. 登録番号 24228 : ゼータタイガー 3 0 0 F G、 登録番号 24229 : ドラゴンホーク Z 3 0 0 F G (プロピリスルフロン 3.0 %・ブロモブチド 30.0 %・ペントキサゾン 6.67 %粒剤)	43
4 8. 登録番号 24336 : S D S イザナギ 1 キロ粒剤、 登録番号 24337 : イザナギ 1 キロ粒剤 (トリアファモン 0.50 %・ベンゾビシクロン 2.0 %・ペントキサゾン 2.5 %粒剤)	44
4 9. 登録番号 24357 : ショキニー 1 キロ粒剤 (ブロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)	44
5 0. 登録番号 24376 : トップガン R 1 キロ粒剤 (ピリミノバックメチル 0.45 %・ブロモブチド 9.0 %・ベンスルフロンメチル 0.75 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)	45
5 1. 登録番号 24377 : トップガン R 豆つぶ 2 5 0 (ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)	46
5 2. 登録番号 24378 : トップガン R ジャンボ (ピリミノバックメチル 1.8 %・ブロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)	47
5 3. 登録番号 24379 : トップガン R フロアブル (ピリミノバックメチル 0.83 %・ブロモブチド 17.0 %・ベンスルフロンメチル 1.3 %・ペントキサゾン 2.8 %水和剤)	48

5 4. 登録番号 24469 : ゼータジャガーフロアブル (フェンキノトリオン 5.7 %・プロピリスルフロン 1.7 %・ペントキサゾン 3.8 %水和剤)	49
5 5. 登録番号 24470 : ゼータジャガー 1 キロ粒剤 (フェンキノトリオン 3.0 %・プロピリスルフロン 0.90 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)	50
5 6. 登録番号 24471 : ゼータジャガージャンボ (フェンキノトリオン 15.0 %・プロピリスルフロン 4.5 %・ペントキサゾン 10.0 %粒剤)	51
5 7. 登録番号 24477 : 流星フロアブル (フェンキノトリオン 6.0 %・ペントキサゾン 5.0 %・メタゾスルフロン 2.0 %水和剤)	52
5 8. 登録番号 24478 : 流星 1 キロ粒剤 (フェンキノトリオン 3.0 %・ペントキサゾン 2.5 %・メタゾスルフロン 1.0 %粒剤)	53
5 9. 登録番号 24479 : 流星ジャンボ (フェンキノトリオン 7.5 %・ペントキサゾン 6.25 %・メタゾスルフロン 2.5 %粒剤)	54
6 0. 登録番号 24480 : 流星エアー粒剤 (フェンキノトリオン 7.5 %・ペントキサゾン 6.25 %・メタゾスルフロン 2.5 %粒剤)	55
6 1. 登録番号 24610 : S D S イザナギジャンボ S D、 登録番号 24611 : イザナギジャンボ S D (トリアファモン 2.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 %・ペントキサゾン 15.0 %粒剤)	55
6 2. 登録番号 24612 : S D S イザナギ 2 0 0 S D粒剤、 登録番号 24613 : イザナギ 2 0 0 S D粒剤 (トリアファモン 2.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 %・ペントキサゾン 15.0 %粒剤)	56
6 3. 登録番号 24630 : イネヒーローエアー粒剤 (ダイムロン 25.0 %・ペントキサゾン 7.5 %・メタゾスルフロン 2.5 %粒剤)	56
6 4. 登録番号 -※ : イネブレイブ 1 キロ粒剤 (ジメタメトリン 0.6 %・ペントキサゾン 3.0 %・メタゾスルフロン 0.8 %粒剤)	57
※新規登録申請中	

1. 登録番号 19845 : ベクサー フロアブル、
 登録番号 22865 : ベアス フロアブル
 (ペントキサゾン 2.9 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	一年生雑草 及び マツバヤイ	移植時	500 mL/10 a	2回 以内	田植同時 散布機で 施用	2回以内
		植代後~移植前 7日 または 移植直後~ハビエ発生始期 ただし、移植後 30日まで			原液湛水 散布又は 水口施用	
		植付後生育期 (雑草発生前)		3回 以内	原液湛水 散布	3回 以内
いぐさ	一年生雑草					

2. 登録番号 19847 : ベクサー 1 キロ粒剤、
 登録番号 22866 : ベアス 1 キロ粒剤
 (ペントキサゾン 1.5 %粒剤)

作物名	適用 雑草名	使用時期	使用量	本剤の 使用 回数	使用 方法	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
移植水稻	一年生雑草 及び マツバヤイ	移植時	1 kg/10 a	2回 以内	田植同時散 布機で施用	2回以内
		植代後~移植前 7日 または 移植直後~ハビエ発生始期 ただし、移植後 30日まで			湛水散布	
		植付後~生育期 (雑草発生前)		3回 以内	3回 以内	
いぐさ	一年生雑草					

3. 登録番号 19848 : テマカットフロアブル、

登録番号 19849 : SDS テマカットフロアブル

(ダイムロン 28.0 %・ペントキサゾン 7.2 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモタカ クログワ(北海道を除く) コウキヤガラ(東北、関東・東山・東海、九州) シズイ(東北)	植代後~移植前 7 日 または 移植直後~ ビエ 1 葉期 ただし、 移植後 30 日 まで	砂壌土~ 埴土	500 mL /10 a	1 回	原液湛水散布又は水口施用	全域	3 回以内 (育苗箱散布は 1 回以内、本田では 2 回以内)	2 回以内
		移植時				田植同時散布機で施用			
		植代時 (移植 7 日前まで)				植代時に原液のまま散布し混和する	全域(北海道を除く)の普通期栽培地帯及び 関東・東山・東海、九州の早期栽培地帯		
直播水稻	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	湛水直播の代かき時 (は種 7 日前まで)	壤土~ 埴土	300 mL/10 a		代かき時に原液のまま散布し混和する	全域 (北海道を除く)	2 回以内	
		湛水直播の代かき後~ は種前 7 日				原液湛水散布			

4. 登録番号 19853 : 日産草笛フロアブル、

登録番号 21116 : 草笛フロアブル、

登録番号 21621 : 協友草笛フロアブル

(クミルロン 27.4 %・ペントキサゾン 8.2 %水和剤)

作物名	適用 雑草名	使用時期	使用量	本剤の 使用 回数	使用方法	クミルロンを 含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを 含む農薬の 総使用回数	
移植 水稻	水田一年生雑草 マツバゴイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ	移植時	500 mL/10 a	1回	田植同時散 布機で施用	2回以内	2回以内	
		植代時(移植前 7日まで)			植代時に 原液のまま 散布し混和 する。			
		植代後~移植前7日 又は移植直後~ ハビエ1葉期 但し、移植後 30日まで			原液 湛水散布			
	水田一年生雑草 マツバゴイ ホタルイ ミズガヤツリ コウキヤガラ クログワイ シズイ	移植時	300 mL/10 a (少量散 布)		田植同時散 布機で施用	2回以内	2回以内	
		植代後~移植前7日 又は移植直後~ ハビエ1葉期 但し、移植後 30日まで			原液 湛水散布			

5. 登録番号 19854 : 科研草笛ジャンボ、
 登録番号 21115 : 草笛ジャンボ、
 登録番号 21620 : 協友草笛ジャンボ
 (クミルロン 15.0 %・ペントキサゾン 4.5 %剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	クミルロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草及びマツバゴケホタルイミズガヤツリヘラオモダカ	植代後～移植前 7 日 又は移植直後～ハエ1葉期但し、移植後 30 日まで	20 個 (1 kg)/10 a	1 回	水田に投げ入れる。	2 回以内	2 回以内
	水田一年生雑草及びマツバゴケホタルイミズガヤツリヘラオモダカクログワイコウキヤガラ	植代後～移植前 7 日 又は移植直後～ハエ1葉期但し、移植後 30 日まで	10 個 (500 g)/10 a				
	水田一年生雑草及びマツバゴケホタルイミズガヤツリ	植代後～移植前 7 日 又は移植直後～ハエ発生始期但し、移植後 30 日まで	5 個 (250 g)/10 a				

6. 登録番号 19869 : ユートピア粒剤 15

(シクロスルファムロン 0.20 %・ペントキサゾン 1.5 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	シクロスルファムロンを含む農薬の総使用回	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバゴイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ホタカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	3 kg/10 a	1回	田植同時散布機で施用	2回以内	2回以内
		移植直後～ ハビエ 1葉期 ただし、 移植後 30 日 まで			湛水散布		

7. 登録番号 19872 : ショキニーフロアブル

(プロモブチド 18.0 %・ペントキサゾン 4.0 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 マツバゴイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ クログワイ	移植時	500 mL/10 a	1回	田植同時散布機で施用	2回以内	2回以内
		移植直後～ ハビエ 1葉期 但し、移植後 30 日まで			原液湛水散布又は水口施用		
	水田一年生雑草 マツバゴイ ホタルイ ミズガヤツリ		300 mL/10 a (少量散布)		原液湛水散布		

8. 登録番号 20156 : ユートピア 1 キロ粒剤

(シクロスルファムロン 0.60 %・ペントキサゾン 4.5 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草及びマツバゴケホタルイウリカワミズカガヤツリ(北海道を除く)ペラモダカ(北海道)クロゲワイ(北海道、北陸を除く)モダカヒルムシロ(北陸を除く)アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	砂壌土~埴土	1 kg/10 a	1回	田植同時散布機で施用	北海道
			壤土~埴土				東北 北陸
			砂壌土~埴土				関東・東山・東海の普通期及び早期栽培地帯
			壤土~埴土				近畿・中国・四国、九州の普通期及び早期栽培地帯
			砂壌土~埴土				北海道
		移植直後~ハビエ1.5葉期ただし、移植後30日まで	壤土~埴土		湛水散布		東北 北陸
			砂壌土~埴土				関東・東山・東海の普通期及び早期栽培地帯
			壤土~埴土				近畿・中国・四国、九州の普通期及び早期栽培地帯
		移植後3日~ハビエ1.5葉期ただし、移植後30日まで	砂壌土				

シクロスルファムロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

9. 登録番号 20491 : トップガンフロアブル

(ピリミノバックメチル 0.83 %・プロモブチド 17.0 %・ベンスルフロンメチル 1.3 %・ペントキサゾン 2.8 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ カワカラ ミズガヤツリ(東北) ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ クログワイ(東北) モウガ(東北) シズイ(東北) アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 5 日～ビエ 3 葉期 但し、移植後 30 日まで	砂壌土 ～埴土	500 mL/10 a	1 回	原液 湛水散布	北海道
	移植直後～ビエ 3 葉期 但し、移植後 30 日まで	東北					
	移植時	田植同時 散布機で施用					
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	稻 1.5 葉期～ビエ 3 葉期 但し、収穫 90 日前まで	壤土～ 埴土			原液 湛水散布	北海道、 東北

ピリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内	2 回以内

10. 登録番号 20493：トップガンLフロアブル

(ピリミノバックメチル 0.56%・プロモブチド 17.0%・ベンスルフロンメチル 0.93%・ペントキサゾン 2.8%水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 マツバゴイ ホタルイ クリカワ ミズガヤツリ ホタガ（北陸を除く） クログワイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ハビエ3葉期 但し、移植後30日まで	砂壌土～埴土	500 mL/10 a	1回	原液湛水散布	全域(北海道、東北を除く)の普通期及び早期栽培地域
	移植時					田植同時散布機で施用	
直播水稻	水田一年生雑草 マツバゴイ ホタルイ クリカワ ミズガヤツリ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稻1葉期～ハビエ3葉期 但し、収穫90日前まで	壤土～埴土	500 mL/10 a	1回	原液湛水散布	全域(北海道、東北を除く)
		稻1.5葉期～ハビエ3葉期 但し、収穫90日前まで	砂壌土				

ピリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内	2回以内

**1 1. 登録番号 20634 : フォーカスショットジャンボ、
登録番号 21105 : 科研フォーカスショットジャンボ
(ベンゾビシクロン 4.0 %・ペントキサゾン 4.0 %粒剤)**

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	一年生雑草及びマツバゴホタルイミズガヤツリヘラオモダカクリカワヒルムシロクログワイシズイコウキヤガラ	移植直後~ハニエ1.5葉期ただし、移植後30日まで	小包装(パック)10個(500 g)/10 a	1回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる	3回以内	2回以内

**1 2. 登録番号 20822 : クミアイサキドリ EW、
登録番号 22742 : シンウチ EW、
登録番号 23099 : イネゼット EW
(ブタクロール 12.0 %・ペントキサゾン 4.0 %乳剤)**

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ブタクロールを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草及びマツバゴホタルイミズガヤツリクログワイコウキヤガラ	植代後~移植前7日または移植直後~ハニエ1葉期ただし、移植後30日まで	500 mL/10 a	1回	原液湛水散布	2回以内	2回以内
		移植時			田植同時散布機で施用		
		植代時(移植7日前まで)			植代時に原液のまま散布し混和する		
直播水稻	水田一年生雑草及びマツバゴホタルイミズガヤツリ	湛水直播の代かき時(は種7日前まで)	300 mL/10 a	1回	代かき時に原液のまま散布し混和する		
		湛水直播の代かき後~は種前7日			原液湛水散布		

1 3. 登録番号 20993 : ショキニー 250 グラム
(プロモブチド 24.0 %・ペントキサゾン 6.0 %剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガ・ヤツリ ヘラオモダカ	移植直後～ ビニエ 1 葉期 但し、移植後 30 日まで	250 g/10 a	1 回	湛水散布、 湛水周縁散布、 水口施用又は 無人航空機に による散布	2 回以内	2 回以内

1 4. 登録番号 21155 : トップガン 250 グラム
**(ピリミノバックメチル 1.8 %・プロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル
3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)**

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガ・ヤツリ(東北) ヘラオモダカ オモダカ(東北) クログワ(東北) シズイ(東北) ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日～ ビニエ 2.5 葉期 但し、 移植後 30 日まで	砂壤土～埴土	250 g/10 a	1 回	湛水散布、湛水周縁散布または 無人ヘリコプターによる散布	北海道
	移植直後～ ビニエ 2.5 葉期 但し、 移植後 30 日まで	東北					
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガ・ヤツリ ヒルムシロ セリ	稻 1 葉期～ ビニエ 2.5 葉期 但し、 収穫 90 日前まで					北海道、 東北

ピリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内	2 回以内

15. 登録番号 21165 : SDS ダッシュワンフロアブル、
 登録番号 21166 : ホクコーダッシュワンフロアブル
 (ダイムロン 22.9 %・ペントキサゾン 3.8 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ダイムを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガ、ヤツリ ヘラオモダカ クログワイ	植代時(移植 7日前まで) 移植時 植代後~移植前 7日又は移植直後~ ナビエ 1葉期 但し、移植後 30日まで	500 mL/10 a	1回	植代時に原液のまま散布し 混和する 田植同時散布 機で施用 原液湛水散布	3回以内 (育苗箱散布は 1回以内、 本田では 2回以内)	2回以内

16. 登録番号 21167 : トップガンL 250 グラム

(ピリミノバックメチル 1.8 %・プロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル
2.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ガリカ ミズガヤツリ モダカ クログワイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後~ハビエ 2.5葉期 但し、移植後30日まで	砂壌土~埴土	250 g/10 a	1回	湛水散布、湛水周縁散布または無人ヘリコプターによる散布	全域(北海道、東北を除く)の普通期及び早期栽培地帯
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ガリカ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稻1葉期~ハビエ 2.5葉期 但し、収穫90日前まで					全域(北海道、東北を除く)

ピリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内	2回以内

17. 登録番号 21208：プレッサフロアブル、

登録番号 21209：SDS プレッサフロアブル

(ベンゾビシクロン 3.9%・ペントキサゾン 3.9%水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラモヂカ カリカ クログワイ シズイ ヒルムシロ コウキヤカラ	移植時	500 mL/10 a	1回	田植同時 散布機で 施用	3回以内	2回以内
		移植直後～ ハニエ 1.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで			原液湛水 散布		

18. 登録番号 21375 : トップガンG T 1 キロ粒剤 75

(ピリミノバックメチル 0.45%・プロモブチド 9.0%・ベンスルフロンメチル 0.75%・ペントキサゾン 2.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 マツハイ ホタルイ クリカワ ミズガヤツリ(東北) ベラオモダカ オモダカ(東北) クログリイ(東北) シヌイ(東北) ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	砂壌土 ~埴土	1 kg/10 a	1回	田植同時散布機で施用	北海道 東北
	移植直後~ ナビエ3葉期 但し、移植後 30日まで						
直播水稻	水田一年生雑草 マツハイ ホタルイ クリカワ ミズガヤツリ ベラオモダカ ヒルムシロ セリ	稻1葉期~ ナビエ3葉期 但し、収穫90日前まで				湛水散布	

ピリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内	2回以内

19. 登録番号 21378 : トップガンG T 1 キロ粒剤 5 1

(ピリミノバックメチル 0.45 %・プロモブチド 9.0 %・ベンスルフロンメチル
0.51 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤカラ(関東・東山・東海) アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	砂壌土 ~埴土	1 kg/10 a	1 回	田植同時 散布機で施用	全域(北海道、東北を除く)の普通期及び早期栽培地域
	移植直後~ハビエ 3葉期 但し、移植後 30日まで	湛水散布					
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ セリ	稻 1葉期~ハビエ 3葉期 但し、収穫 90日前まで					全域(北海道、東北を除く)

ピリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内	2回以内

20. 登録番号 21381：トップガンジャンボ

(ピリミノバックメチル 1.8 %・プロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル
3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 マツバゴイ ホタルイ アリカ ミズガヤツリ(東北) ベラオモダカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日～ ナビエ 2.5 葉期 但し、移植後 30 日まで	砂壌土 ～埴土	小包装(パック) 10 個(250 g)/10 a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	北海道 東北

ピリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内	2 回以内

2.1. 登録番号 21384 : トップガンL ジャンボ

(ピリミノバックメチル 1.8 %・プロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル
2.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 マツハイ ホタルイ ウリカワ ミズガチャリ ヒルムシロ(近畿・中国・四国を除く) セリ アオミドロ・藻類による表層はく離(近畿・中国・四国、九州)	移植後 3 日～ ルビエ 2.5 葉期 但し、移植後 30 日まで	砂壌土 ～埴土	小包装(パック) 10 個(250 g)/10 a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	全域(北海道、東北を除く)の普通期及び早期栽培地帯
直播水稻	水田一年生雑草 マツハイ ホタルイ ウリカワ ミズガチャリ ヒルムシロ セリ	稻 1 葉期～ルビエ 2.5 葉期 但し、収穫 90 日前まで					全域(北海道、東北を除く)

ピリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内	2 回以内

22. 登録番号 21403 : クミアイサキドリ 1 キロ粒剤、

登録番号 22743 : シンウチ 1 キロ粒剤

(ブタクロール 5.0 %・ペントキサゾン 1.5 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ブタクロールを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバゴイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ クロゲワイ コウキヤガラ	植代後~移植前 7 日 または移植直後~ リュエ 1 葉期 ただし、移植後 30 日まで	1 kg/10 a	1 回	湛水散布	2 回以内	2 回以内
		移植時			田植同時 散布機で 施用		

23. 登録番号 21829 : ヨシキタ 1 キロ粒剤

(イマゾスルフロン 0.90 %・プロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 3.9 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 マツバゴイ ホタルイ ガリガリ シズガヤツリ(北海道を除く) ヘラオモタカ(北海道、東北) シズイ(東北) クログリイ(東北、関東・東山・東海、近畿・中国・四国、九州) オモタカ(東北、関東・東山・東海) コウキヤカラ(関東・東山・東海、近畿・中国・四国、九州) ヒルムシロ ゼリ アオミドロ・藻類による表層はく離(近畿・中国・四国を除く)	移植時 移植直後 ~ハビエ 1.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで	砂壌土~埴土	1 kg/10 a	1 回	田植同時散布機で施用 湛水散布	全域の普通期及び早期栽培地帯

イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内

24. 登録番号 21831：ヨシキタフロアブル

(イマゾスルフロン 1.7 %・プロモブチド 16.3 %・ペントキサゾン 7.0 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 マツバ・イ ホタルイ ウリカワ ミズガ・ヤツリ(北海道を除く) ヘラオモダ・カ(北海道、東北) クロ・ワイ(東北、関東・東山・東海、近畿・中国・四国、九州) オモダ・カ(東北、関東・東山・東海) コウキ・ヤカ・ラ(東北、関東・東山・東海、近畿・中国・四国、九州) ヒルムシロ セリ アオミド・ロ・藻類による表層はく離	移植時	砂壌土～ 埴土	500 mL/10 a	1回	移植同時 散布機で 施用	全域の普通期及び 早期栽培地帯
	移植直後 ～ハビエ 1.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで					原液湛水 散布	

イマゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数	プロモブチドを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内

25. 登録番号 22309 : ヨシキタジャンボ

(イマゾスルフロン 2.25 %・プロモブチド 22.5 %・ペントキサゾン 9.75 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 マツバゴイ ホタルイ ベラオモダカ(東北) ミズガヤツリ ウリカワ クログワイ(東北、関東・東山・東海、近畿・中国・四国) モダカ(東北、関東・東山・東海) コウキヤガラ(関東・東山・東海、近畿・中国・四国) ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離(東北)	移植直後 ~ハビエ1.5葉期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土 ~埴土	小包装(パック) 10個 (400 g)/10 a	1回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	全域(北海道、九州を除く)の普通期及び早期栽培地帯

イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内

26. 登録番号 22322 : サインヨシフロアブル

(ペントキサゾン 8.6 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバゴイ ホタルイ ベラオモダカ クログワイ コウキヤガラ	植代時 (移植 7 日前まで)	500 mL/10 a	2回以内	植代時に原液のまま散布し混和する	2回以内
		植代後~移植前 7 日 又は移植直後~ハビエ 1葉期ただし、移植後 30 日まで			原液湛水散布	
		移植時			田植同時散布機で施用	
	水田一年生雑草 及び マツバゴイ ホタルイ	移植直後~ハビエ 1葉期ただし、移植後 30 日まで	300 mL/10 a		原液湛水散布	

**27. 登録番号 22420 : M I Cスウィープフロアブル
(ピラゾレート 20.0 %・ペントキサゾン 4.0 %水和剤)**

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピラゾレートを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ クログワイ モダカ	植代後~移植前 7日又は 移植直後~ ハビエ1葉期 ただし、 移植後 30日まで	500 mL/10 a	1回	原液湛水 散布又は 無人ヘリコプターによる滴下	2回以内	2回以内

**28. 登録番号 22655 : クリアホープフロアブル、
登録番号 22656 : 兼商クリアホープフロアブル
(ペントキサゾン 4.0 %・ACN 18.0 %水和剤)**

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数	ACNを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	植代後~移植前 7日 又は移植直後~ ハビエ1葉期 ただし、移植後 30日まで	500 mL/10 a	1回	原液湛水 散布又は 水口施用	2回以内	3回以内

29. 登録番号 22846 : 半蔵 1 キロ粒剤

(シクロスルファムロン 0.50 %・ベンゾビシクロン 2.0 %・ペントキサゾン 3.9 %
粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	1 kg/10 a	1 回	移植同時 散布機で施用
		移植直後~ハニエ 1.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで			
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	稻 1 葉期~ハニエ 1.5 葉期ただし、 収穫 90 日前まで	1 kg/10 a	1 回	湛水散布

シクロスルファムロンを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	3 回以内	2 回以内

30. 登録番号 23008 : ホクコーメテオ 1 キロ粒剤

(ペントキサゾン 2.5 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ クロガワイ	移植時	1 kg/10 a	2 回以内	移植同時散布機で施用	2 回以内
		植代後~移植前 7 日又は 移植直後~ハニエ 1 葉期 但し、移植後 30 日まで			湛水散布	

3 1. 登録番号 23009：ホクコーメテオフロアブル
 (ペントキサゾン 5.0 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ クログワイ	移植時	500 mL/10 a	2回 以内	田植同時 散布機で施用	2回以内
		植代後～移植前7日 又は移植直後～ ハビュ1葉期 但し、移植後30日まで			原液湛水散布 又は水口施用	

32. 登録番号 23225：イネヒーロー 1 キロ粒剤、

登録番号 23226：日産イネヒーロー 1 キロ粒剤

(ダイムロン 10.0 %・ペントキサゾン 3.0 %・メタゾスルフロン 1.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草及びマツバゴケホタルイウリカワミズガヤツリクログワイオモダカシズイヘラオモダカヒルムシロセリコウキヤカラ	移植時	1 kg/10 a	1回	田植同時散布機で施用	3回以内(育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)	2回以内	2回以内
		移植直後～ハビエ3葉期ただし、移植後30日まで			湛水散布又は無人航空機による散布			
直播水稻	水田一年生雑草及びマツバゴケホタルイウリカワヒルムシロセリアオミドロ・藻類による表層はぐ離	稻1.5葉期～ハビエ3葉期ただし、収穫90日前まで	1 kg/10 a	1回		2回以内		

3.3. 登録番号 23525：イネヒーロージャンボ、
登録番号 23526：日産イネヒーロージャンボ

(ダイムロン 25.0 %・ペントキサゾン 7.5 %・メタゾスルフロン 2.5 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草 及びマツバイ ホタルイ ミズガヤツリ クリカワ クログワイ モダカ シズイ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ハビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	小包装(パック) 10個(400g)/10a	1回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。

ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の総使用回数
3回以内(育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)	2回以内	2回以内

3 4. 登録番号 23572 : ゲキテツ 1 キロ粒剤

(ピラゾスルフロンエチル 0.30 %・ベンチオカーブ 21.0 %・ペントキサゾン 4.0 %
粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 マツハイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ(東北) ヒルムシロ セリ	移植直後 ~ハビエ 2葉期 但し、 移植後 30日まで	砂壌土 ~埴土 壤土~ 埴土	1 kg/10 a	1回	湛水 散布	東北
		北陸、関東・東山・東海の普通期及び 早期栽培地帯、近畿・中国・四国、九州 の普通期栽培地帯					
		田植同時 散布機で 施用	東北				
		移植時	砂壌土 ~埴土 壤土~ 埴土			北陸、関東・東山・東海の普通期及び 早期栽培地帯、近畿・中国・四国、九州 の普通期栽培地帯	

ピラゾスルフロンエチルを含む農薬の総使用回数	ベンチオカーブを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
1回	1回	2回以内

3 5. 登録番号 23582 : テマエース 1 キロ粒剤

(イマゾスルフロン 0.90 %・ダイムロン 15.0 %・ペントキサゾン 3.9 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツハイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ(北海道、東北、北陸) ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	砂壌土 ~埴土	1 kg/10 a	1回	田植同時 散布機で 施用	全域の 普通期及び早 期栽培地帯
		移植直後~ ハビエ 1.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで				湛水散布	

イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2回以内	3回以内(育苗箱散布は1回以内、 本田では2回以内)	2回以内

36. 登録番号 23583 : テマエースフロアブル

(イマゾスルフロン 1.7 %・ダイムロン 28.0 %・ペントキサゾン 7.3 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壤	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツハイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ(北海道、東北、 北陸) ヒルムシロ クログワイ(東北、関東・東 山・東海) オモダカ(東北、関東・東 山・東海) シズイ(東北) セリ アオミドロ・藻類による表 層はく離	移植時	砂壌土 ~埴土	500 mL/10 a	1回	田植同時 散布機で 施用	全域の 普通期及び早 期栽培地帯
	移植直後～ リビエ 1.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	原液湛水 散布又は 水口施用					

イマゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数	ダイムロンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2回以内	3回以内(育苗箱散布は1回以内、本 田では2回以内)	2回以内

37. 登録番号 23735 : ゼータタイガーフロアブル、
 登録番号 23873 : ドラゴンホーク Z フロアブル、
 登録番号 24244 : ニマイメ Z フロアブル
 (プロピリスルフロン 1.7 %・ブロモブチド 16.8 %・ペントキサゾン 3.7 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ クリカワ エゾノサヤヌカグサ オモダカ クロゲワイ コウキヤカラ シズイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日～ハビエ 3 葉期 ただし、移植後 30 日まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ クリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稻 1 葉期～ハビエ 3 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布又は無人航空機による滴下

プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数	ブロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

**38. 登録番号 23747 : ゼータハンマー 1 キロ粒剤
(プロピリスルフロン 0.90 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)**

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ ホモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1 kg/10 a	1回	田植同時 散布機で 施用	2回以内	2回以内
	移植直後～ ハビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	湛水散布 又は無人 航空機による散布					
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稻1葉期～ ハビエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	1 kg/10 a	1回	湛水散布 又は無人 航空機による散布		

39. 登録番号 23748 : ゼータタイガー 1 キロ粒剤、
 登録番号 23875 : ドラゴンホーク Z 1 キロ粒剤、
 登録番号 24245 : ニマイメ Z 1 キロ粒剤

(プロピリスルフロン 0.90 %・プロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ エゾノサヤシカクサ オモダカ クログワイ コウキヤカラ シズイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1 kg/10 a	1 回	移植同時散布機で施用
	移植直後～ハビエ 3 葉期 ただし、移植後 30 日まで	湛水散布又は無人航空機による散布			
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稻 1 葉期～ハビエ 3 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	1 kg/10 a	1 回	湛水散布又は無人航空機による散布

プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

40. 登録番号 23749 : ゼータタイガージャンボ、
 登録番号 23877 : ドラゴンホークZ ジャンボ、
 登録番号 24246 : ニマイメZ ジャンボ

(プロピリスルフロン 3.0 %・プロモブチド 30.0 %・ペントキサゾン 6.67 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ エゾノサヤカクサ オモダカ クログワイ コウキヤカラ シズイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日～ハビエ 3 葉期 ただし、移植後 30 日まで	小包装(パック) 10 個(300 g)/10 a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稻 1 葉期～ハビエ 3 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	小包装(パック) 10 個(300 g)/10 a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。

プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

4.1. 登録番号 23753 : イネヒーローフロアブル

(ダイムロン 19.0 %・ペントキサゾン 5.7 %・メタゾスルフロン 1.9 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバゴイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ クログワイ モダカ シズイ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ コウキヤガラ	移植後 5 日～ハニエ 3 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布 又は 無人ヘリコプターによる滴下

ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の総使用回数
3 回以内(育苗箱散布は 1 回以内、 本田では 2 回以内)	2 回以内	2 回以内

**4 2. 登録番号 23822 : ホクコーメテオジャンボ
(ペントキサゾン 8.3 %粒剤)**

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ	植代後~移植前 7 日 又は 移植直後~ハビエ 1 葉期 但し、移植後 30 日まで	小包装(パック) 10 個(300 g)/10 a	1 回	水口施用 又は 水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	2 回以内

**4 3. 登録番号 23837 : イネショット 1 キロ粒剤
(プロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)**

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ベラオモダカ クログワイ シズイ コウキヤカラ	移植直後~ ハビエ 1 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	1 kg/10 a	1 回	湛水散布 又は 無人ヘリコプターによる散布	2 回以内	2 回以内
		移植時			田植同時散布機で施用		

4.4. 登録番号 23878 : ゼータハンマーフロアブル

(プロピリスルフロン 1.7 %・ペントキサゾン 3.9 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバ・イ ホタルイ ベラオモダ・カ ミズガ・ヤツリ ウリカワ ホモダ・カ クログ・ワイ コウキヤカ・ラ シズ・イ ヒルムシロ セリ アオミド・ロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日 ~ノビエ 3 葉期ただし、移植後 30 日まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下	2 回以内	2 回以内
直播水稻	水田一年生雑草 マツバ・イ ホタルイ ミズガ・ヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稻 1 葉期~ノビエ 3 葉期ただし、収穫 90 日前まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布又は無人航空機による滴下	2 回以内	2 回以内

4.5. 登録番号 23879 : ゼータハンマージャンボ

(プロピリスルフロン 4.5 %・ペントキサゾン 10.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ タリカワ オモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日 ~ハビエ 3 葉期 ただし、移植後 30 日まで	小包装(パック) 10 個(200 g)/10 a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる	2 回以内	2 回以内
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ タリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稻 1 葉期~ ハビエ 3 葉期 ただし、 収穫 90 日前まで	小包装(パック) 10 個(200 g)/10 a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる	2 回以内	2 回以内

4 6. 登録番号 23995 : S D S イザナギフロアブル、

登録番号 23996 : イザナギフロアブル

(トリアファモン 0.94 %・ベンゾビシクロン 3.8 %・ペントキサゾン 5.7 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生 及び 多年生雑草	移植時	500 mL/10 a	1 回	田植同時散布機で施用
		移植直後~ハニエ 3.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで			原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラモダガ ウリカワ ミズガマヤツリ ヒルムシロ セリ	稻 1.5 葉期~ハニエ 3.5 葉期 ただし、 収穫 90 日前まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布 又は無人航空機による滴下

トリアファモンを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	3 回以内	2 回以内

4.7. 登録番号 24228 : ゼータタイガー 300 FG、

登録番号 24229 : ドラゴンホーク Z 300 FG

(プロピリスルフロン 3.0 %・プロモブチド 30.0 %・ペントキサゾン 6.67 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 多年生広葉雑草 エゾノサヤカガサ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日～ビエ 3 葉期 ただし、移植後 30 日まで	300 g/10 a	1 回	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稻 1 葉期～ビエ 3 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	300 g/10 a	1 回	湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布

プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

4 8. 登録番号 24336 : S D S イザナギ 1 キロ粒剤、

登録番号 24337 : イザナギ 1 キロ粒剤

(トリアファモン 0.50 %・ベンゾビシクロン 2.0 %・ペントキサゾン 2.5 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生 及び 多年生雑草	移植時	1 kg/10 a	1 回	移植同時散布機で施用
		移植直後~ハエ 3 葉期 ただし、移植後 30 日まで			
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稻 1.5 葉期~ハエ 3 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	1 kg/10 a	1 回	湛水散布 又は 無人航空機による散布

トリアファモンを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	3 回以内	2 回以内

4 9. 登録番号 24357 : ショキニー 1 キロ粒剤

(プロモブチド 9.0 %・ペントキサゾン 2.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ クログワイ シズイ コウキヤガラ	移植直後~ ハエ 1 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	1 kg/10 a	1 回	湛水散布 又は 無人航空機によ る散布	2 回以内	2 回以内
		移植時			田植同時散布機 で施用		

50. 登録番号 24376：トップガンR 1キロ粒剤

(ピリミノバックメチル 0.45%・プロモブチド 9.0%・ベンスルフロンメチル 0.75%・ペントキサゾン 2.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ クリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ シズイ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1 kg/10 a	1 回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ビエ3葉期 但し、移植後30日まで			湛水散布
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ クリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ	稻1葉期～ビエ3葉期 但し、収穫90日前まで			

ピリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内	2回以内

5 1. 登録番号 24377 : トップガンR豆つぶ 250

(ピリミノバックメチル 1.8 %・プロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ワリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ クログワイ シズイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後~ハピエ 2.5 葉期 但し、移植後 30 日まで	250 g/10 a	1 回	湛水散布、湛水周縁散布 または 無人航空機による散布
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ワリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稻 1 葉期~ハピエ 2.5 葉期 但し、収穫 90 日前まで			

ピリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内	2 回以内

5.2. 登録番号 24378 : トップガンR ジャンボ

(ピリミノバックメチル 1.8 %・プロモブチド 36.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ペントキサゾン 8.0 %剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ クログワイ シズイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ビエ 2.5 葉期 但し、移植後 30 日まで	小包装(パック) 10 個(250 g)/10 a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稻 1 葉期～ビエ 2.5 葉期 但し、収穫 90 日前まで			

ピリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内	2 回以内

5.3. 登録番号 24379：トップガンRフロアブル

(ピリミノバックメチル 0.83 %・プロモブチド 17.0 %・ベンスルフロンメチル
1.3 %・ペントキサゾン 2.8 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバ ホタルイ ウカウカ ミズガヤツリ ベラオモダカ ヒルムシロ セリ クログワ オモダカ シズイ アオミドロ・藻類による表層 はく離	移植時	500 mL/10 a	1回	田植同時散布機で施用
	移植直後～ビエ3葉期 但し、移植後30日まで	原液湛水散布			
直播水稻	一年生雑草 マツバ ホタルイ ミズガヤツリ	稻1.5葉期～ビエ3葉期 但し、収穫90日前まで			

ピリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数	プロモブチドを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内	2回以内

5.4. 登録番号 24469 : ゼータジャガーフロアブル

(フェンキノトリオン 5.7 %・プロピリスルフロン 1.7 %・ペントキサゾン 3.8 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバゴイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズカガヤツリ ウリカワ エゾノサヤヌカグサ オモダカ クログワイ コウキヤカラ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日～ハビエ 4 葉期 ただし、移植後 30 日まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布または無人航空機による滴下
直播水稻	一年生雑草 マツバゴイ ホタルイ ミズカガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稻 1 葉期～ハビエ 4 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布または無人航空機による滴下

フェンキノトリオンを含む農薬の総使用回数	プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

5.5. 登録番号 24470 : ゼータジャガー 1 キロ粒剤

(フェンキノトリオン 3.0 %・プロピリスルフロン 0.90 %・ペントキサゾン 2.0 %
粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ エゾノサヤヌカグサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層 はく離	移植時	1 kg/10 a	1 回	田植同時散布機で施用
	移植直後～ビエ 4 葉期 ただし、移植後 30 日まで	湛水散布または無人航空機による散布			
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層 はく離	稻 1 葉期～ビエ 4 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	1 kg/10 a	1 回	湛水散布または無人航空機による散布

フェンキノトリオンを含む農薬の 総使用回数	プロピリスルフロンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

5 6. 登録番号 24471 : ゼータジャガージャンボ

(フェンキノトリオン 15.0 %・プロピリスルフロン 4.5 %・ペントキサゾン 10.0 %
粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバゴイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ クリカリ エゾノサヤヌカグサ オモダカ クログワイ コウキヤカラ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日～ビエ 4 葉期 ただし、移植後 30 日まで	小包装(パック) 10 個(200g)/10a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。
直播水稻	一年生雑草 ホタルイ ミズガヤツリ クリカリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稻 1 葉期～ビエ 4 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	小包装(パック) 10 個(200g)/10a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。

フェンキノトリオンを含む農薬の総使用回数	プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

57. 登録番号 24477 : 流星フロアブル

(フェンキノトリオン 6.0 %・ペントキサゾン 5.0 %・メタゾスルフロン 2.0 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツハイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ	移植後 3 日～ハビエ 3 葉期ただし、移植後 30 日まで	500 mL/10 a	1 回	原液湛水散布又は無人航空機による滴下
直播水稻	一年生雑草 マツハイ ホタルイ マツハイ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稻 1 葉期～ハビエ 3 葉期ただし、収穫 90 日前まで			

フェンキノトリオンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

5.8. 登録番号 24478：流星 1 キロ粒剤

(フェンキノトリオン 3.0 %・ペントキサゾン 2.5 %・メタゾスルフロン 1.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草	移植時	1 kg/10 a	1 回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ハニエ 3 葉期 ただし、移植後 30 日まで			
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稻 1 葉期～ハニエ 3 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	1 kg/10 a	1 回	湛水散布 又は 無人航空機による散布

フェンキノトリオンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

5.9. 登録番号 24479 : 流星ジャンボ

(フェンキノトリオン 7.5 %・ペントキサゾン 6.25 %・メタゾスルフロン 2.5 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草	移植後 3 日～ビエ 3 葉期 ただし、移植後 30 日まで			
直播水稲	一年生雑草 マツハイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稻 1 葉期～ビエ 3 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	小包装(パック) 10 個(400 g)/10 a	1 回	水田に 小包装(パック)の まま投げ入れる

フェンキノトリオンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

6 0. 登録番号 24480 : 流星エアー粒剤

(フェンキノトリオン 7.5 %・ペントキサゾン 6.25 %・メタゾスルフロン 2.5 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草	移植後 3 日～ビエ 3 葉期 ただし、移植後 30 日まで			
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稻 1 葉期～ビエ 3 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	400 g/10 a	1 回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機による散布

フェンキノトリオンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

6 1. 登録番号 24610 : SDS イザナギジャンボ SD、

登録番号 24611 : イザナギジャンボ SD

(トリアファモン 2.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 %・ペントキサゾン 15.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ	移植直後～ビエ 3.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで	小包装(パック) 10 個(200 g)/10 a	1 回	水田に小包装(パック)のまま 投げ入れる。

トリアファモンを含む農薬の 総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の 総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	3 回以内	2 回以内

6 2. 登録番号 24612 : SDS イザナギ 200 SD 粒剤、

登録番号 24613 : イザナギ 200 SD 粒剤

(トリアファモン 2.5%・ベンゾビシクロン 10.0%・ペントキサゾン 15.0% 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ カリカリ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ	移植直後～ノビエ 3.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで	200 g/10 a	1 回	湛水散布 又は 無人航空機による散布

トリアファモンを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	3 回以内	2 回以内

6 3. 登録番号 24630 : イネヒーローエー粒剤

(ダイムロン 25.0%・ペントキサゾン 7.5%・メタゾスルフロン 2.5% 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ 3 葉期 但し、移植後 30 日まで	400 g/10 a	1 回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機による散布

ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の総使用回数
3 回以内(育苗箱散布は 1 回以内、本田では 2 回以内)	2 回以内	2 回以内

6.4. 登録番号 一 : イネブレイブ 1 キロ粒剤

(ジメタメトリン 0.6%・ペントキサゾン 3.0%・メタゾスルフロン 0.8%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ワリカワ クログワイ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層剥離	移植時 移植直後～ハニエ3葉期 但し、移植後30日まで	1 kg/10 a	1回	田植同時散布機で施用 湛水散布又は無人航空機による散布

ジメタメトリンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内